

子供が野菜を好きになるためのデザインアプローチ

Design approach for kids to like vegetables

山崎実果

指導教員 川崎紀弘

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 伝わるデザイン研究室

キーワード：野菜、好き嫌い、子供のためのデザイン、キャラクターデザイン、文具デザイン

1. 研究目的、意義

見た目や味で子供から嫌われがちな野菜。「何が原因で人は、食の好き嫌いが発生するのか？」それに対して、デザインの力でどうにか解決できないかな。という思いで研究対象にしようと考えた。子供の野菜嫌い、それに悩まされる保護者たちを問題視し、野菜の調理法以外で克服方法を考える。この研究をすることで、子供の偏食を改善し、保護者の悩みも軽減したい。

2. 調査内容

2020年にゼネラルリサーチが全国でおこなった「子供の食事」に関する調査によると、子供がいる保護者の回答で、「子供がしっかり食べないことがストレスになっている」という声が6割以上で寄せられた。また、「子供の食事で不安なことはあるか」という問いかけには、「好き嫌いが多い」や「お菓子ばかり食べている」などの声が数多く寄せられていた。

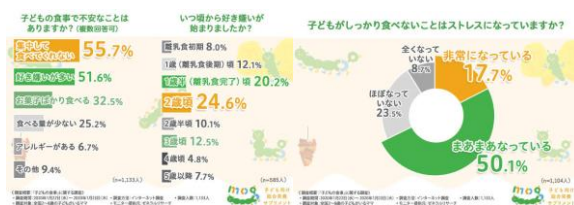


図1 「子供の食事」に関する調査

次に、関西国際大学の堀尾強教授が行った「食の好き嫌いが発生する原因」の研究によると、生理学的には、食の好き嫌いが発生する原因は、遺伝的要素と環

境的要素があると述べている。ケーキやフライドポテトなどから感じられる甘味・塩味・旨味は人間に必要な栄養素であるもののシグナルであり、人間が自然と好むようになっている。また、小さい頃食べたときに「お腹を痛めた」、「気持ち悪くなった」などの記憶がトラウマとなり、以降見ただけで拒否反応を起こす例も多い。次に、2019年から2020年にかけて行われた「子供が主に嫌いな野菜」の調査では、図2のような結果になっている。

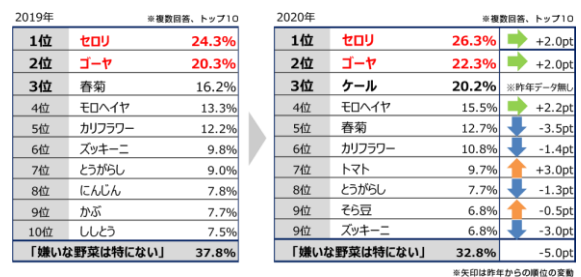
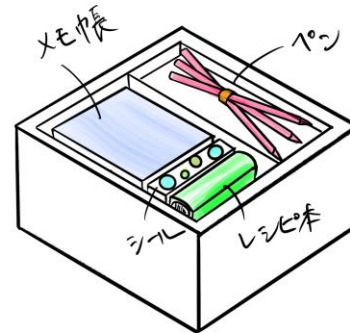


図2 「子供が主に嫌いな野菜」の調査

そしてもうひとつ、Amazonのランキング調査[3]から、子供が自分の好みを1番反映させていたのは、学校などで使う身近な文具だという考察ができた。ランキングには、主にペンやメモ帳、シールなどが挙げられ、デザインは主にキャラクターもしくはスポーツの競技などをモチーフにしたものだった。また男女によって色の好みに多少偏りがあるように見えた。そしてキャラクターにも、共通点がいくつか見出せた。これらから、シルエットやそのキャラの設定などにも、子供が好きやすい要素のヒントがあると考えられる。

3. アイデア展開

調査などを参考に提案するのが、子供心を揺さぶる野菜キット。野菜キットといっても、野菜を育てるキットではなく、野菜をモチーフにした文具セットのようなものだ。その中にも、嫌いな野菜に触れて欲しいと思い、簡単に作れる野菜を使ったアレンジ料理のレシピなども入れて、親子で楽しめるキットを制作する。外観や中身の構造はスケッチの通りで、主に男の子向けのデザインと女の子向けのデザイン 2種類で展開する。



4. 今後の方向性

今後の方向性としては、実際にアイデア展開したもので制作をし、主に対象年齢としている小学生低学年までの年齢層の人に使用してもらい、声を聞き良かったところや良くなかったところを挙げて研究の結果を出そうと考えている。また作るもの自体の細かいデザインやアイデアは、調査を行った子供が好むキャラクターや形、記号などから考察を行いより核心的なものを研究しその上で確立していきたいと考えている。すでに追加で行っている調査としては、色、形、キャラクターなどの調査があり、さらに身近にいる子供たちにもアンケートを取り、実際に声を聞いたりしている。これらからの考察がこれからの課題となる。

参考文献

[1] 「子供の食」に関する調査 モニター提供：ゼネラルリサーチ

[PR TIMES5割以上のママが、子どもは『好き嫌いが多い』と回答！好き嫌いを補うための工夫とは・・・ | mog 株式会社のプレスリリース](#)

[2] 「子供が主に嫌いな野菜」の調査
[タキイ種苗 2020年度 野菜と家庭菜園に関する調査」を発表 | インフォメーション](#)

[3] 「人気の景品用の子供文房具ランキング」Amazon 調査
[人気の景品用のこども 文房具 ランキング - Amazon.co.jp](#)
<https://www.amazon.co.jp> > [人気の景品用のこども-文...](#)

